

# 平成29年度 決算報告

平成29年度一般会計の決算規模については、歳入総額が36億3,524万5千円で、前年度と比較すると1,134万円(0.3%)の減、歳出総額は34億7,093万8千円で、前年度と比較すると1,572万7千円(0.5%)の減となりました。

また、歳入歳出差引額は1億64,307万の黒字ですが、このうち翌年度へ繰越すべき財源が2,687万3千円あり、実質収支額は1億3,743万4千円となり、前年度より90万6千円(0.7%)の減となりました。

歳入について、町税のうち個人町民税は経済情勢から個人均等割、所得割が共に減少したことで2.8%の減となりましたが、法人町民税は7号法人が1社増となったことにより20.3%の増となり、町民税全体では0.9%の減となりました。固定資産税は、土地、建物、償却資産からなる純固定資産税が1.2%の減、国有林野交付金が8.3%の増、県有資産交付金が6.6%増となったことにより、固定資産税全体では0.5%減となりました。

軽自動車税は、新税率の自家用四駆自動車登録台数の増により、1.9%の増、たばこ税は販売本数の減少により10.3%の減、入湯税は入浴客数の減少により3.0%の減となり、町税全体としては1.0%の減となっています。

地方交付税については、普通地方交付税が6.5%の減、特別交付税は1.8%の増で、全体では5.7%の減となりました。

国・県支出金のうち、国庫支出金では地方創生推進交付金、臨時福祉給付金事業費補助金、東北観光復興対策交付金、衆議院議員総選挙委託金等の増、社会資本整備整備総合交付金等の増等はありませんでしたが、地方創生加速化交付金、年金生活者等支援臨時福祉給付金事業費補助金等の皆減、障害者医療費負担金等の減により、総体では、26.5%の減となりました。

県支出金においては、局所がけ崩れ対策事業補助金等の皆増等がありました。また、未来づくり交付金等の皆減等があり、総体で11.8%の減となりました。

町債においては、一般補助施設整備等事業の皆減がありました。臨時財政対策債、過疎対策事業債の増により、総体で5.0%の増となりました。

歳出について、経常収支比率は94.5%となっています。

その他は下記をご覧ください。

## ◇歳出の性質別構成比率◇

(単位：千円)

<b>【義務的経費】</b>	<b>1,134,932 (32.7%)</b>
◎人件費	573,371 (16.5%)
(うち職員給)	332,033 (9.6%)
◎扶助費	248,495 (7.2%)
◎公債費	313,066 (9.0%)
<b>【投資的経費】</b>	<b>516,116 (14.9%)</b>
◎普通建設事業費	499,456 (14.4%)
<b>【その他経費】</b>	<b>1,820,242 (52.4%)</b>
◎物件費	699,486 (20.1%)
◎維持補修費	66,728 (1.9%)
◎補助費等	499,212 (14.4%)
◎投資出資貸付金	48,440 (1.4%)
◎積立金	94,721 (2.7%)
◎繰出金	411,655 (11.9%)
歳出合計	3,470,938 (100%)

※ ( ) 内は構成比

## 平成29年度主要施策

(単位：千円)

<b>『補助事業』</b>	
ローカルベンチャー事業所整備費	1,675
造林事業	41,671
藤琴二ツ井線道路改良工事	21,011
橋梁補修調査事業	17,357
橋梁補修工事	60,153
<b>『単独事業』</b>	
庁舎エアコン更新工事	3,128
本庁舎外壁改修工事	5,616
空き家改修事業	4,694
光ファイバ移設工事	2,408
歯科診療所医師住宅浴室改修事業	1,179
下水処理施設普及促進奨励金	1,634
大野岱畜舎改修・管理棟新築事業	17,256
米集荷施設改修費補助金	4,450
農畜産物処理加工センター排水設備改修工事	2,873
農畜産物処理加工センター屋根塗装工事	2,763
白神山水の館高圧エアドライヤー交換工事	2,925
開発センターグラウンドネット設営工事	5,832
造林事業(単独)	19,568
坊中橋塗装工事(繰明分)	8,157